

更新プログラム提供のご案内

お客様 各位

Galileopt DXにつきまして、以下の内容に対応しました更新プログラムを提供いたします。
お客様におかれましては、本書の記載にしたがって、アップデートを行ってくださいますようお願いいたします。

<主な対応内容>

- ・ 固定資産管理 機能改良
- ・ リース資産管理 機能改良
- ・ 各システムの機能改良および不具合対応

1. システムの対応内容について

対応内容は次のとおりです。

【Galileopt DX 固定資産管理】

- 機能改良
 - ・ 『決算更新』『翌期情報作成』に[償却割合設定の繰越をする]のチェックボックスを追加し、当期データの償却割合設定を翌期データに繰り越すかどうかを選択できるように対応しました。チェックありの場合は『会社基本情報登録』の[償却割合設定]の値を翌期データに引き継ぎ、チェックなしの場合は[償却割合設定]の値を引き継がず初期値(100.00%)で翌期データを作成します。
 - ・ 『資産データ基本情報登録』で減損仕訳の[起票方法]に「1: 減損時(決算連動月)」を追加し、『固定資産→財務大将連動』で減損仕訳を決算月に連動できるように対応しました。減損年月日が決算月(中間決算月、本決算月、第1四半期決算月、第3四半期決算月)の物件を対象とし、伝票日付を連動月の末日で決算月に起票します。
 - ・ 『会社基本情報登録』に[経過リース期間定額法計算方法]を追加しました。
[会計基準第34号適用区分]が「1: 適用する」、かつ[経過リース期間定額法適用区分]が「1: 適用する」の場合に、「0: 税法の計算のみ適用する」か「1: 税法・会計の計算に適用する」を選択できます。
経過リース期間定額法が適用されている物件は、[経過リース期間定額法計算方法]の設定にしたがって会計上の減価償却費を計算します。

【Galileopt DX リース資産管理】

- 機能改良
 - ・ 『資産データ基本情報登録』でリース減損仕訳の[起票方法]に「1: 減損時(決算連動月)」を追加し、『リース資産→財務大将連動』でリース減損仕訳を決算月に連動できるように対応しました。
減損年月日が決算月(中間決算月、本決算月)の物件を対象とし、伝票日付を連動月の末日で決算月に起票します。
※賃貸借処理の物件は、「1: 減損時(決算連動月)」を選択した場合も従来どおり減損時に起票します。

- ・『会社基本情報登録』に「経過リース期間定額法計算方法」を追加しました。
「会計基準第34号適用区分」が「1：適用する」、かつ「経過リース期間定額法適用区分」が「1：適用する」の場合に、「0：税法の計算のみ適用する」か「1：税法・会計の計算に適用する」を選択できます。

経過リース期間定額法が適用されている物件は、「経過リース期間定額法計算方法」の設定にしたがって会計上の減価償却費を計算します。

【各システムの機能改良および不具合対応について】

機能改良および不具合対応については、[「Galileopt DX システム対応一覧」](#)を参照してください。

2. オンラインアップデートについて

オンラインアップデートでは更新プログラムが自動でダウンロードされますが、バージョンアップは通常、自動では実行されません。ダウンロード後に必ずバージョンアップを実行してください。

※自動インストールの設定を行っている場合は、自動でバージョンアップが実行されます。

※オンラインアップデートの詳細につきましては、DVD-ROMの「Manual」>「インストール手順書」フォルダー内の「Galileopt DX MJSオンラインアップデート.pdf」を参照してください。

3. バージョンアップについて

- (1) バージョンアップの方法につきましては、[「差分更新ツール操作マニュアル」](#)を参照してください。
- (2) バージョンアップを行う前に、必ずデータをバックアップしてください。
- (3) 本プログラムの適用中はGalileopt DXの運用をすべて停止していただく必要があります。
- (4) Galileopt DX Ver.1.13.01が適用されている環境に対して本プログラムを適用した場合、クライアントのセットアップが必要です。Webクライアントのセットアップは不要です。

※ Galileopt DX Ver.1.13以降の各バージョンからバージョンアップを行った際のクライアントセットアップおよびWebクライアントセットアップの有無につきましては、[こちら](#)を参照してください。

4. システムに関するお問い合わせについて

システムに関するお問い合わせは、GOODWILL PLUSサイト「よくあるお問い合わせ」または「MJS AIアシスト」をご利用になれます。

【GOODWILL PLUSサイト「よくあるお問い合わせ」「MJS AIアシスト」について】

GOODWILL PLUSサイトの「よくあるお問い合わせ」「MJS AIアシスト」は次の方法で参照いただけます。

▼【Galileopt DXホームウィンドウ】



「MJS AIアシスト」とは株式会社 ミロク情報サービスが提供する製品について知りたいことを質問形式で入力することで、生成AIが回答を提示するチャット型サポートサービスです。「MJS AIアシスト」では、「よくあるお問い合わせ」「操作マニュアル」「カスタマーサービスセンターに蓄積されたナレッジ」をもとにAIが生成した回答を表示します。「MJS AIアシスト」は無料でお使いいただけます。

「MJS AIアシスト」の使用方法については、GOODWILL PLUSサイトの「よくあるお問い合わせ」のFAQ番号：12629を参照してください。

5. 申告書類を提出する際の注意事項

- (1) システムで作成された申告書類等は、必ず内容をご確認ください。
電子申告を行う場合は、帳票確認や送信票の「申告・申請・届出」タブで、送信される申告書類等を必ずご確認ください。
- (2) 当初申告要件がある明細書等に関しては、当初申告時は要件に該当しないが修正申告時等が必要になると想定されるものは、必要に応じて当初申告時に申告書に添付して提出するようにしてください。
- (3) 税務署への提出においてOCR用紙での提出が必要な申告書類等がありますのでご注意ください。
- (4) 税務署配布用の申告用紙以外での提出は、税務行政上のトラブルを最小限にするために、必ず税務署から配布または送付されたプレプリントの申告用紙を添付することと、その番号等を照合のうえ、提出をお願いいたします。
- (5) 白紙印刷での申告書類等の提出は、あらかじめ提出先（税務署等）にご確認のうえをお願いいたします。
- (6) 国税局ごとに様式の異なる用紙の税務署の受理については、予めお客様ご自身で提出先の税務署へご確認をお願いいたします。
- (7) プログラムをアップデート後は、改正対応された様式で印刷されますので、ご注意ください。

6. その他のご注意

システム使用上の注意事項については、以下のとおりです。

- (1) システム全般（インストール等）のお問い合わせは、「ソフトウェア運用支援サービス」にご加入いただいているお客様は、加入者専用電話にてお問い合わせを承ります。
- (2) 操作説明の詳細については、ヘルプ機能および各システムの操作マニュアルをご覧ください。
- (3) プログラムインストール後、データはすべて本プログラム専用となります。以前のバージョンのプログラムでは使用できなくなりますのでご注意ください。

以上